TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　神の多面的な知恵

エフェソの信徒への手紙 3:1-13

2023年9月2日&3日
余沢 武　牧師

I.　イントロダクション

こんにちは。先週は神の御言葉の務めを果たしてくださったジェシー牧師に感謝しています。 今日は、エフェソの信徒への手紙に戻ります。

私たちは、イエスの死と復活を信じることによって、ユダヤ人も異邦人もまったく新しい種類の民となったことを学んできました。私たちは隅の親石であるイエスのご性質と聖さにならい一致しながら、共に聖なる神殿へ見合うものとなるため成長しています。今日は、この中でパウロの役割を見ていきます。
まず、祈りましょう。

II.　神の多面的な知恵

(1)　知らされた秘義

エフェソの信徒への手紙 3 章 1 節から 4 節。
「[1] このようなわけで、私パウロは、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となっています。 [2] あなたがたのために私に与えられた神の恵みの計画について、あなたがたは確かに聞いたはずです。 [3] 初めに手短に書いたように、啓示によって秘義が私に知らされました。 [4] あなたがたは、それを読めば、私がキリストの秘義をどのように理解しているのかが分かります。」

パウロは、神の「秘義」は異邦人である私たちに明らかにされるために、彼に与えられたのだと言っています。新約聖書では、「秘義」という言葉は、神だけが知っている神の計画のことですが、今、私たちに明らかにされました。

もし私が秘密の家族旅行を計画し、私だけがそれを知っていて、それを今家族に明らかにしたら、私たちはそれを「サプライズ」と呼ぶでしょう。しかし、もし神が家族旅行を計画し、神のみがそれを知っていて、それを家族に明らかにしたとしたら、それは「秘義」と呼ばれるでしょう。

パウロによれば、神はユダヤ人と異邦人の両方、つまり誰からでも、まったく新しい種類の人々を創造することを計画されました。イエスが十字架上で私たちの罪のために死んでくださったことを信じることによって、私たちは死に、イエスとともによみがえり、イエスのご性質と聖さを備えた新しい民へと変えられます。それがパウロに知らされた「秘義」です。

5 節から 6 節です。「[5] この秘義は、前の時代には人の子らには知らされていませんでしたが、今や霊によってその聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。 [6] すなわち、異邦人が福音により、キリスト・イエスにあって、共に相続する者、共に同じ体に属する者、共に約束にあずかる者となるということです。」

この秘義は「前の時代」、つまり旧約聖書の時代には知られていませんでした。しかし、「今」、つまり「新約聖書の時代」に、使徒と預言者たちに啓示されました。使徒とともに神の御言葉を教えた新約聖書の預言者たちのことを指しています。私たちがイエスを信じるなら、ユダヤ人も異邦人でも私たちは「共に相続する者」、つまり「神の子ども」、「共に同じ体に属する者」となります。私たちは「キリストの体」であり、「約束のパートナー」なのです。私たちは、「約束された聖霊」を受け取り変えられていくのです。

(2)　神の恵み、神の力により仕える者

7 節から 9 節です。「[7] 神は、その力を働かせて私に恵みを賜り、この福音に仕える者としてくださいました。 [8] この恵みは、すべての聖なる者のうちで最も小さな者である私に与えられました。キリストの計り知れない富を異邦人に告げ知らせ、 [9] すべてのものを造られた神の内に永遠の昔から隠されていた秘義の計画がどのようなものであるかを、すべての人に明らかにするためです。」

パウロは「この福音、つまりこの秘義に仕える者」とされました。
これは神の恵みによるものです。彼がそれに値するからではありません。また神の力によるものです。彼に何かをする能力があったからではありません。神は、「すべての聖なる者のうちで最も小さな者」であるパウロを用いることによって、私たちにそれを明らかにしてくださいました。神はご自分が望む人は誰であっても用いることができます。

ここで重要な真理を見落としてはなりません。もし私たちが福音を伝え、聖書を教え、教会に仕えるために神に用いられる者であり、それらが得意だとしたら、それは神の恵みと神の力によるものなのです。私たちが自分を誇るものは何もありません。

ですが、もし私たちが福音を伝え、聖書を教え、教会に仕えるために神に用いられる者でないとしても、落胆する必要はありません。誰も自分の実力でうまくいっているわけではありません。私たちはただ、神の恵みと力を神に求めるだけでいいのです。神がそれを望んでおられるならば、私たちはそれを手に入れることができるでしょう。

それで、神はパウロに恵みと力を与えました。なぜでしょうか？
10 節から 11 節です。「[10] こうして、神の豊かな知恵が、今や教会を通して天上の支配や権威に知らされるようになったのですが、[11] これは、神が私たちの主キリスト・イエスにおいて実現してくださった永遠の計画に沿うものです。」

ケント・ヒューズ牧師が非常に興味深い話をしてくれました。数年前、ベルギー福音宣教会のヨハン・ルカッセは、ベルギーでの伝道が行き詰まっていることに気づきました。聖書を念入りに調べた後、彼は新しい計画を思いつきました。

彼はアメリカ人、ベルギー人、オランダ人、その他誰でもいいというクリスチャンのグループを作りました。彼らに 7 カ月間、一軒家で同居してもらいました。

当然、この多様な人々の間には軋轢が生まれました。彼らは祈ることを余儀なくされました。しかし、その結果、彼らは実を結び始めました。彼らは互いの違いを克服し始めました。もはやベルギー人もオランダ人もアメリカ人もいませんでした。彼らは互いに愛し合う一つの新しい民となりました。

外部の人々は彼らに驚き、「互いに愛し合う民」と彼らのことを呼びました。彼らは純粋に神の愛を示し合う民となりました。

これがパウロの言う「神の多面的な知恵」であり、既存のあらゆる知恵をはるかに凌駕する知恵です。そして、これは天使にとって目を見開かされる大きな出来事であり、サタンと悪魔を震え上がらせるものでした。

10 節は「こうして、神の豊かな知恵が、今や教会を通して天上の支配や権威に知らされるようになったのですが」と言っています。

天使とサタンと悪霊たちは有史以来、私たちを見守ってきました。
彼らはエデンの園にいました。イスラエルの民がエジプトを出発した時にもいました。イエスの誕生のとき、イエスの死と復活のとき、彼らはそこにいました。しかし、彼らは神が何をしているのか知らされていませんでした。
み使いたちは、神がこの「律法主義的なユダヤ人」や「不道徳な異邦人」に何をしようとしているのか、まったく知りませんでした。

サタンと悪霊たちは、自分たちが全員を欺き、破滅に向かわせたと思っていました。
それでも、彼らは、神がイエスを通して何かをしておられることは分かっていました。
ただ、神が何をなさっているのかは確かではありませんでした。そこで、彼らは息を止めて見守っていたのです。

そして、彼らは「秘義」が明らかにされるのを見始めました。彼らは、「不道徳な人々」や、「律法主義的ユダヤ人」がいたるところでイエスの元にやって来て、罪を認め、イエスと自分を同一視し、イエスにつながり、イエスとともに死に、イエスとともによみがえるのを見ました。

彼らの罪深さ、違い、民族の違い、性格の違い、好み、聖書の一部に対する理解の違いにもかかわらず、彼らは共に成長し、ひとつの新しい民となっていったのです。彼らは神を愛し、互いに愛し合っていたのです。

彼らは日々互いに近づき、日々イエスに近づいて成長していきます。神のご性質、神の神聖さは、日に日に彼らの中で明らかになっていきます。

天使たちは驚いて見ていました。サタンと悪霊たちは、自分たちの王国が崩れ去り、敵意と不道徳に生きる者たちがイエスに立ち返り、新しい民に加わるのを見て震え上がりました。

彼らは「神はどうしてこうされたのか？」彼らは皆、神の知恵に驚嘆しています。

これが私がこの教会を愛する理由です。ここは天使たちが神の知恵に驚嘆する場所です。国籍も性格も好みも聖書の理解も違う私たちが、共に奉仕し、互いに愛し合い、日々親密になっていきます。

みなさんの中には数週間前、VBS に参加した人もいます。アメリカ人、日本人、フィリピン人、中国人、アフリカ人……あらゆる国の人々が共に奉仕し、互いに愛し合う姿をみなさんは目撃しました。葛藤や違いはありましたか？ もちろんあったでしょうが、私たちはそれらを通して共に成長したのです。
だからこそサタンは、このキリストの体である私たちの一致を乱すために、あらゆる手を尽くそうとしてくるのです。

(3)　あなたがたの栄光のために

12 節から 13 節です。「[12] キリストにあって、私たちは、キリストの真実により、確信をもって、堂々と神に近づくことができます。[13] だから、私があなたがたのために受けている苦難を見て、落胆しないでください。この苦難はあなたがたの栄光なのです。」

これこそが「福音の働き」の姿なのですから、悪魔の力からの抵抗があるでしょう。それは、律法主義的な誘惑や不道徳な誘惑を利用しています。パウロは「落胆しないでください」と言っています。覚えてください。私たちのゴールは「あなたがたの栄光」、つまり、互いに神のご性質と神聖さに成長するのを助けることです。

この秘義の本質を理解すると、「福音の働き」のゴールは、永遠の命を得ること、天国に行くことといった救いだけではないことがわかるようになります。それは「あなたがたの栄光」についてです。つまり、他の人々が神のご性質と神聖さに到達するのを助けることを意味しています。

もし「救い、つまり永遠の命」が私たちの福音宣教のゴールだとしたら、私たちのターゲットはノンクリスチャンだけになってしまいます。私たちはゴール達成のために道徳的誠実さや他のクリスチャンへの愛さえも犠牲にしたくなるでしょう。

もし「栄光、つまりイエスのご性質と神聖さ」が私たちの福音の働きのゴールであるなら、私たちのターゲットは「すべての人」になります。ノンクリスチャンに「栄光」を提供しながら、同胞であるクリスチャンの「栄光」の成長を助けることに努めることになります。

カウンセリングも同じです。「栄光」がゴールであれば、カウンセリングの方法も変わってきます。
「問題を解決すること」がゴールであれば、例えば、怒りの問題を抱えている人の相談に乗るとき、「怒らせるような人には近づかないように」とアドバイスするだけでいいです。しかし、それでは私たちの内面は何も変わりません。栄光は見ることはないでしょう。

しかし、「栄光」がゴールであるならば、怒りの問題を抱えた人のカウンセリングをするとき、その人が怒りの中に自分の罪を見いだし、その罰としてイエスの死を受け入れ、イエスとともに死に、イエスとともによみがえり、イエスによる変化を求めることを助けることでしょう。それによって、彼は変わっていくのです。それが「栄光」です。

パウロは、イエスからの任務はこの「秘義」を私たちに明らかにすることだと言っています。私たちのような不道徳な罪人は、イエスとの結びつきによって「神の聖なる民」となり、「栄光」、すなわち神のご性質と聖さを獲得することができます。

この秘義は、私たちの敵であるサタンと悪霊たちにも明かにされています。彼らは、私たちが互いに近づき、神に近づくことを妨げようとしています。私たちのゴールは栄光、特に「あなたがたの栄光」であることを忘れてはなりません。互いを愛し、思いやることを続けましょう。

もし、あなたがまだクリスチャンでないなら、イエスを救い主として受け入れることによって、この神の民の一員となるよう、お招きします。そうすれば、イエスにあって「栄光」を受けることができるようになるのです。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3623jp

★クラス 101
教会員（TBC メンバー）になるためのクラス
9月9日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9月30日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了しメンバーになった方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方